

令和元年度 第1回区政会議 当日いただいたご意見への回答

項番	対象項目・委員名	ご意見	回答又は西区の考え方	対応分類 (①～⑤)
1	戦略2-1 災害に強いまちづくり 西村委員(広教)	<p>・全地域で防災組織による訓練を実施するとの目標設定に問題があると思われる。 訓練を実施しない地域はないと思われるので、100%できることを目標に掲げられていると思われる。 達成できるかどうかといったレベルの目標設定が必要では？</p> <p>・例えば、防災訓練に参加する人数の増なども指標としていけるのではないかと？</p>	<p>・地域に主体性をもって防災訓練を実施していただき、着実に地域の防災力が向上していると認識しております。 今後も継続的な防災訓練の必要性や地域特性に合った訓練内容の検討を促すなど、さらなる地域防災力の向上につなげていく必要があると考えています。そうしたことから、取り組みの目標として、全地域の訓練実施を掲げさせていただきます。</p> <p>一方、31年度運営方針としては、「家庭や地域で防災対策を講じている区民の割合50%以上」として指標を設定させていただきます。</p> <p>地域の防災訓練に参加される方や、出前講座等の取組みを通じて、自助・共助の重要性を広く周知していきますのでご理解を賜りますようお願いいたします。</p>	①
2	戦略3-2 学校教育支援 水内議長	<p>・SSW(スクールソーシャルワーカー)の相談件数が多いのか否か、些細な事なのか、重大な問題があるのか、そのあたりの情報をいただければと思います。</p>	<p>・相談件数は、SSWが定着化しニーズが増えていることもあり、昨年度より200件以上増加しております。 不登校など課題を抱える児童生徒・保護者に寄り添いながら問題が重症化する前の早期対応に努めております。</p>	⑤
3	情報発信 水内議長	<p>・運営方針の振り返りをはじめ、情報発信においても区民モニターアンケートの結果により評価されているが、この評価の元となっている区民モニターアンケートをどのようにしているのか？ 回答率、特徴なども含め説明してほしい。</p>	<p>・運営方針の評価として活用している区民アンケートにつきましては、広く市民・区民の皆さんに、区の施策をどのように評価していただけているのかを調査するものであり、調査対象の一部を調べることで調査対象全体を「推測」する「標本調査」の手法により実施しているところです。</p> <p>なお、この「推測」についての確実性を示すものとして、調査対象数により前後しますものの、統計学上およそ400程度の標本(データ)が得られれば95%の信頼水準が得られるとされております。</p> <p>従いまして、目標とする400の標本が取れるよう、大阪市においても過去の実績などを踏まえ、2,000名の方にアンケートを送付、結果として平成30年度調査では591名(回答率29.6%)からの回答を得たところです。</p> <p>なお、森口委員ご指摘の1年間などの期限を区切って調査に協力いただくモニター登録などにおきましては、モニター登録自体を引き受けていただける方の属性が偏るなどの可能性があり、調査結果が市民全体の様相を示さない可能性があるといった課題を抱えていることから、大阪市においても平成31年3月以降実施しておりません。</p> <p>一方、情報発信の課題分析にかかっては、事業内容の理解に基づいた課題の提起をいただくことが必要と考えておりますので、10月頃に実施予定のアンケート調査においては、具体的な課題分析が可能となるよう設問を設定し、実施してまいりますと考えております。</p>	①
4	情報発信 西村委員(広教)	<p>モニターアンケートは案件ごとに無作為抽出して実施しているのか？</p>	<p>従いまして、目標とする400の標本が取れるよう、大阪市においても過去の実績などを踏まえ、2,000名の方にアンケートを送付、結果として平成30年度調査では591名(回答率29.6%)からの回答を得たところです。</p> <p>なお、森口委員ご指摘の1年間などの期限を区切って調査に協力いただくモニター登録などにおきましては、モニター登録自体を引き受けていただける方の属性が偏るなどの可能性があり、調査結果が市民全体の様相を示さない可能性があるといった課題を抱えていることから、大阪市においても平成31年3月以降実施しておりません。</p> <p>一方、情報発信の課題分析にかかっては、事業内容の理解に基づいた課題の提起をいただくことが必要と考えておりますので、10月頃に実施予定のアンケート調査においては、具体的な課題分析が可能となるよう設問を設定し、実施してまいりますと考えております。</p>	①
5	情報発信 森口委員(明治)	<p>・区民モニターアンケートの取り方について、どのように取っているのか？ (1年間モニターになっていただくなど、行政情報の提供、説明の元にアンケート回答をしてもらっているのか？)</p> <p>・例えば、1年の期間内に事業内容の説明をし、内容を理解していただけて評価してもらわねば、参考となる結果は得られないのでは？</p>	<p>従いまして、目標とする400の標本が取れるよう、大阪市においても過去の実績などを踏まえ、2,000名の方にアンケートを送付、結果として平成30年度調査では591名(回答率29.6%)からの回答を得たところです。</p> <p>なお、森口委員ご指摘の1年間などの期限を区切って調査に協力いただくモニター登録などにおきましては、モニター登録自体を引き受けていただける方の属性が偏るなどの可能性があり、調査結果が市民全体の様相を示さない可能性があるといった課題を抱えていることから、大阪市においても平成31年3月以降実施しておりません。</p> <p>一方、情報発信の課題分析にかかっては、事業内容の理解に基づいた課題の提起をいただくことが必要と考えておりますので、10月頃に実施予定のアンケート調査においては、具体的な課題分析が可能となるよう設問を設定し、実施してまいりますと考えております。</p>	①
6	情報発信	<p>【広報紙関係】</p> <p>・紙媒体を活かしつつ電子媒体に力を入れるのはおおむね賛成</p> <p>・全ての広報紙の記事にQRコードをつけてはどうか？</p> <p>・広報紙は総合的な情報が得られるので、なくさないで欲しい。</p> <p>・広報紙「かぜ」について、写真やイラストなどが増え、見やすくなった。</p> <p>・子育て層、高齢者層にメリハリをつけた編集もありと思う。</p>	<p>・広報紙(紙媒体)は網羅された情報を一括して確認していただくのに適しておりますので、「どのような事業・イベントがあるのか」など広報紙をご確認いただき、その中で関心のあるものについてはQRコードを通じてホームページをご覧いただくなど、紙媒体と電子媒体の特性を活かした役割分担をするなど、より情報収集をしやすいように工夫してまいります。</p> <p>その中で、例えば電子媒体での利用が多いと考えられる若年世代向けの事業などにおいては、広報紙紙面においてイベント・事業の一覧とともにそれぞれのQRコードを掲載するなど、情報の受け手の状況を踏まえた紙面構成とすることなどについても検討してまいります。</p>	①

令和元年度 第1回区政会議 当日いただいたご意見への回答

項番	対象項目・委員名	ご意見	回答又は西区の考え方	対応分類 (①～⑤)
7	情報発信	<p>【広報紙の配布関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙「かぜ」を私立の病院、診療所などにおいてはどうか？ ・広報紙などを保育所・幼稚園・小学校などに設置し、保護者に配布する方法もあるのでは？ ・広報紙のポスティング制度について、情報が浸透していない。 ・QRコードは便利だが、掲載されている紙媒体が手元に届かなければ意味をなさない。 ・広報紙にクーポンなどを付ければ手に取ってもらえるのでは？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙の配付につきましては現在、区役所等公共施設における配架に加え、新聞折り込みポスティング(個別配付) 広報サポーター(店舗等に配架)により取り組んでおります。 ・広報サポーターにつきましては、郵便局や金融機関などをはじめ、スーパーなどの商店、更には委員からのご意見にありますように、病院・診療所においてもご協力をいただけたところにつきましては既に対応をさせていただいております。 ・今後も引き続き協力いただける場所の拡大に努めてまいります。 ・また、ポスティング制度の周知についても引き続き取り組むとともに、より多くの方に広報紙を手にとっていただけるよう取り組んでまいります。 	①
8	情報発信	<p>【ホームページ・SNS等電子媒体関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを見ても、欲しい情報がどこに掲載されているのかわかりにくく、なかなか情報にたどり着かない。 ・自分に必要な情報だけを直接検索して見ている。 ・若い世代に訴えかけるにはFacebookなどもよいのでは ・LINEでいろいろな情報が届きすぎる。情報の整理が必要では？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページに掲載の情報を区民の皆さんに周知する手法としてSNSの活用を検討して参ります。 ・具体的には、ホームページにイベントなどの新着情報を掲載する際、同時にSNS(Twitter、Facebook)を通じて発信するなど、即時性・速報性も踏まえた情報発信に努めてまいります。 ・なお、SNSにもそれぞれの特性がありますことから、それぞれの長所、短所をとらまえ、より効果的な情報発信が可能となるよう検討してまいります。 	①
9	情報発信	<p>【アンケート関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去にアンケートが届いたが、アンケート自体の内容がわかりにくかった。 ・アンケート案についてあらかじめ送付いただければ検討する。 ・アンケートについて、無作為抽出でこそ、無関心層も含めた実情があぶりだされる側面もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの方にアンケートの回答をいただけるよう、設問の仕方や設問数など、回答いただきやすい工夫を凝らしてまいります。 	①
10	情報発信	<p>【その他意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い方は必要になれば自分から情報を取りに行く。必要がなければ広報紙などを見ないのでは？ ・全年齢に共通して有効な媒体はない。年齢別に絞った情報発信が必要。 ・イベント情報を表にするなどすれば見やすいのでは。 ・西区が発信する行政情報について、一覧表にしてQRコードを付し、保存版的なものを作成してはどうか？ ・若い方は新聞を取る割合が低い。子ども子育てプラザでイベントの際など話を聞いてみると、区政情報に関心・興味がある方も多し。そういった関心のある層に情報を届ける必要があるのでは？ ・情報を手に入れることについても、地域やマンションの中で知り合いなどのつながりがあれば伝わりやすい。 ・ほかの区がどのような広報施策を講じているのかの分析も必要では？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・区民の皆さんが年代別・男女別にどのような情報を得たいと考えておられるか、また、それぞれの媒体で情報を得られるかなどを調査することにより、区民の皆さんのニーズに応じた、有効な情報発信形態の検討を進めてまいります。 ・子育てイベントなどの場において、広報紙のポスティング、並びにSNSの友達登録などを周知することにより、情報を得ていただける環境の整備に繋げてまいりたいと考えております。 ・また、他区における広報でよいと思われる取組みなどについて研究し、取り入れていけるよう検討してまいります。 	①

※分類

- ①当年度(令和元年度)において対応
- ②令和2年度運営方針に反映または令和2年度に対応予定
- ③令和元年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④対応困難または対応不可
- ⑤その他